

講義名	生活保護論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	圓尾 辰夫		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	13060

主題と概要

貧困への対策として、国家がその責任のもとに国民すべてに最低限の生活を保障していこうとする公的扶助の成り立ちや意義・役割を学ぶとともに、貧困の現代的課題についての理解を深める。
我が国の公的扶助の中核をなす生活保護制度について目的と原理・原則を中心に、その仕組みや動向、制度運営のための体制等への理解を深め、での学習も踏まえ、今後の生活保護制度や関連施策の方向を考える力を養う。
教科書を社会福祉士養成カリキュラムに沿ったものとする。資格取得のための学習にも資するものとする。

到達目標

公的扶助について説明できる。
生活保護制度の仕組み、保護の動向や課題の状況について説明できる。
生活保護制度や関連施策の今後について意見を述べるができる。

提出課題

必要に応じ授業の中で説明する。

評価の基準

授業への参加度・貢献度及び定期試験の結果を総合的に評価する。

履修にあたっての注意・助言他

予習・復習の履行

教科書

新・社会福祉士養成講座 1 6 第 5 版 低所得 社会福祉士養成講座編集委員 中央法規出版株 2200円（税別
者に対する支援と生活保護制度。 会 式会社)

プリント資料及び参考文献

プリント資料については必要に応じて配布する。
福祉小六法を参考文献とする。

授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 公的扶助の概念・範囲、意義と役割
- 3 貧困・低所得者問題と社会的排除
- 4 公的扶助制度の歴史（海外）
- 5 公的扶助制度の歴史（日本）
- 6 貧困・低所得者対策の近年の動向
- 7 生活保護制度の仕組み
- 8 生活保護制度の仕組み
- 9 生活保護制度の仕組み
- 10 生活保護制度の仕組み
- 11 最低生活保障水準と生活保護基準
- 12 生活保護の動向
- 13 低所得者対策の概要
- 14 生活保護の運営実施体制と関係機関・団体
- 15 貧困・低所得者に対する相談援助活動
- 16 生活保護における自立支援
- 17 定期試験の説明

予習・復習

教科書には図表等が多く含まれているので、予習を行うことにより、読解度を高めておくこと。

備考

定期試験においては、大学の定める範囲内で「すべて持ち込み可」とする。